



SHOHEI TANOUÉ

より深く、広い視点から
自分にしかできない仕事を

仮設 工事



平成17年入社 仮設部 田上祥平

1級とび技能士

1週間で辞めるつもりが、風通しのいい社風が肌に合い、気づけば建設業の面白さにのめりこんでいました。現在は職長として、資材の手配や進行管理などを行っています。入社当初はミス連発していましたが、間違えたことは体が覚えていくもの。建設業を志す若い方にも、ミスに怯えず思い切って挑戦してもらいたいですね。また、常に心がけているのは、現場で一緒に働く大手企業のリスク管理、多種多様な資格を取得していく先輩など、すべてのものから学ぶ姿勢です。今後も、より深い知識、広い視野を持って現場に携わっていただきたいと思います。

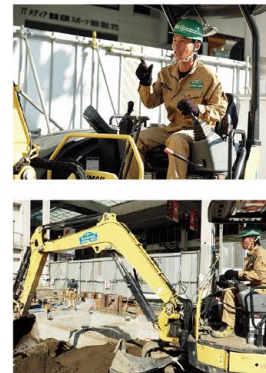
土木 工事

建設業は、創意工夫を求められる
最高にクリエイティブな仕事

平成9年入社 土木部 福澤智宏

1級土木施工管理技士

長年、鷹の仕事をしてきましたが、土木部門の成長を目指して責任者に就任しました。建設の現場はひとつとして同じものがなく、決まっているのはスタートとゴールのみです。その過程でどんな手法を取るか、どう人を動かすかが腕の見せどころ。一般的に想像される以上に創造性の高い仕事です。また、当社は事業規模を拡大し続けており、人材育成が急務のひとつ。自ら考え、言語化できるような技術者を育てたいと考えています。上から押さえつけることなく、自分なりのやり方を確立できるよう、若い社員をサポートしていきたいですね。



TOMOHIRO FUKUZAWA

管理 業務

選ばれるのは「富山らしさ」
将来を見据え、さらなる成長を。



平成9年入社 専務取締役 石坂洋志

鷹・土工基幹技能者

当社の最大の特徴は、自社で資材や車両を抱えていることです。それらの管理、保管、メンテナンス、職人の手配…。さまざまな要因を巧みに組み合わせることで、県内トップシェアを獲得することができました。他にはない事業スタイルを確立すべく、創意工夫とスピード感を重視した決断力が「富山らしさ」と言えるでしょう。また、目下の目標は福岡を中心に九州全域へと進出すること。事業領域、エリア拡大を目指し、社員一人ひとりが資格取得や技能向上といった個々の力を高め、より強いチームとして仕事に取り組んでいただきたいと思います。



HIROSHI ISHIZAKA

社員インタビューの続きはホームページでもご覧いただけます。

<https://tomi-ko.com> 富山工業 熊本



COMPANY PROFILE 会社概要

会 社 名：株式会社 富山工業
住 所：〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水上大谷3805
代 表 者：代表取締役 富山竜一
1日の稼働人員：50～80名
創 業：平成9年12月
資 本 金：500万円
許 可・登 録：熊本県知事許可(般-30)第15500号
事 業 内 容：とび・土工工事 (平成30年4月10日)
土・鋼・シ・水・石・ほ・塗装工事業(平成30年4月10日)

HISTORY 沿革

平成9年12月	富山工業を個人創業
平成15年2月	富山工業を法人設立
平成15年4月	熊本県知事認可建設業許可を取得
平成16年	資材センターを拡大
平成20年2月	事務所建築
平成25年5月	事務所移転
平成27年7月	菊陽町に新事務所移転、資材センター増設



株式会社 富山工業

住所：熊本県菊池郡菊陽町原水上大谷3805
TEL:096-292-6550 FAX:096-292-6552
<https://tomi-ko.com>



TOMIYAMA PRIDE

株式会社 富山工業

REETING

株式会社富山工業 代表取締役

富山 竜一



RYUICHI TOMIYAMA

建設業の常識を変え、想像を超える未来へ。

当社は1997年に足場工事の専門会社として創業、現在は当業種において県内で最大規模の企業へと成長いたしました。近年は土木分野でもシェアを拡大し、建設業のワンストップサービスを目指して挑戦を続けています。最高の品質、工期の厳守、トップクラスの安全性。そういった工事のクオリティは高く、さらに一歩先をゆく、驚きと感動に満ちた仕事を提供。関わるすべての人がワクワクするような現場を創出し続ける。それこそが私たちの誇りです。今後は県外へのエリア拡大も視野に、より一層ユニークな事業を追求し、富山工業は変わり続けます。



CORPORATE IDENTITY

企業理念

ひらめき・アイデア・行動力

この三つの言葉を掲げ、常にお客様、社員に驚きと感動を与え、そして飽きさせない努力、社員一人一人の安全意識の向上と安全への追及に全力で取り組みます。

考動理念

誠実は信用を作り、努力は繁栄をもたらし、情熱は魅力を生み、創造は活力を漲らせ、質素は安定の因となる。

CORPORATE INITIATIVES

企業としての取り組み

安全対策

- 安全大会 毎年五月開催
2018年は光の森町民センターキャロップにて70名程で開催
内容：協賛会社各社の2019年度目標、労働安全衛生コンサルタントによる現場パトロール講評
- 毎週一回 週間工程会議・毎月一回 全社員による安全会議
- 大規模な生コン打設前には、関係者を集めて打設検討会を開催

最新技術の導入

技術力向上のため、最新技術の導入を積極的に行っております。

- コマツIoTセンタ九州にてスマートコンストラクションセミナー参加
- 2018年、仮設施工図作成の為に在来CADに加えてCWORKSCADを導入

技能実習生受け入れ制度

ベトナム人技能実習生の受け入れを2012年から実施し、現在12名(2019年)2018年には外国人技能実習3号を取得する実習生も誕生しました。資材センターにおいて資材の検収、塗装などの技能実習を行っております。

BUSINESS

事業内容

構造物の足固め

当社では、一般住宅から中高層物件の仮設・足場工事まで現場に合わせた最善の工法で幅広く対応しております。ビルやマンション・工場・災害復旧に伴う構造物や太陽光発電の設置用足場など、経験と技術を持ったスタッフが足場設置から解体まで安全第一に責任を持って行います。また、自社資材センターとの連携により施工時間の短縮とコスト削減を実現します。



01

仮設足場工事

建設現場における仮設足場工事一式



02

資材管理

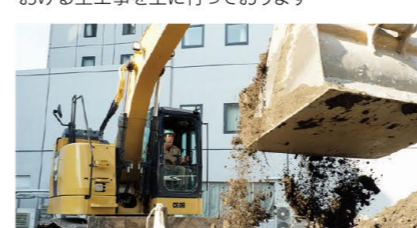
現場作業員から注文が入った資材を、センター作業員が梱包し、トラックで納入します



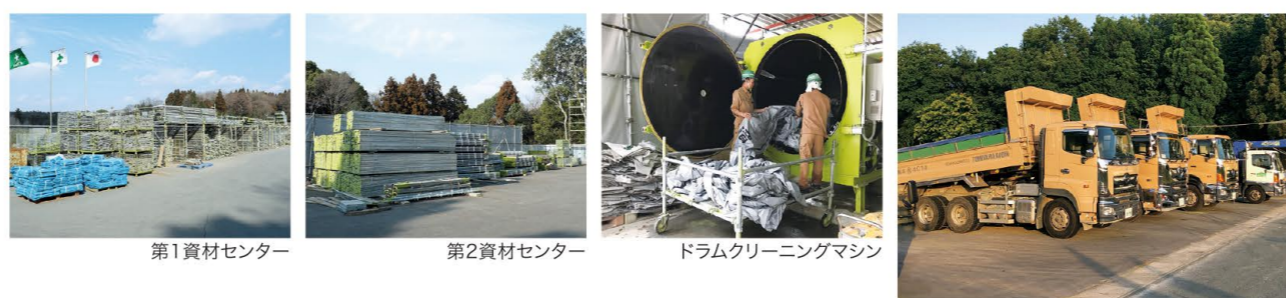
03

土工事

熊本市内周辺にある残土置き場(協力業者共有地)4カ所を使って土工事を回しています。新築現場における土工事を主に行っております



県内最大級の資材センターとの連携で工期厳守



- センター人数:10名
- 面積:第一資材センター(5,600㎡)・第二資材センター(3,900㎡)・第三資材センター(2,300㎡)
- 保有資材数:門型材(59,453㎡)・クサビ材(121,397㎡)・次世代足場(31,350㎡)
- 重機保有台数 0.1BH(1台)・0.2BH(1台)・0.45BH(3台)・0.7BH(1台)・10tダンプ(3台)
- 運搬車輛:10tユニック(1台)・4tユニック(2台)・フォークリフト(4台)

特注のドラムクリーニングマシンにて一度に80枚のメッシュシートを洗浄しています

CONSTRUCTION METHOD

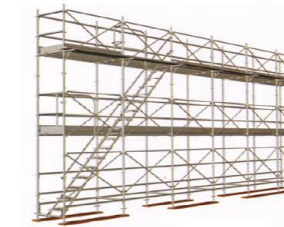
工法

安全かつスピーディーな工法の導入で満足度の高い技術をお届けします。

次世代足場

TYPE 1

大組み大出し工法を積極的に採用して、高所作業率を減らしています。墜落転落災害を減らすべく改善中です。クサビ式足場でも先行手摺を標準装備、墜落災害防止のために親綱先行で作業しています。組立工程を圧倒的な速さで短縮し、作業効率を上げ、省力化を実現します。



枠組足場

TYPE 2

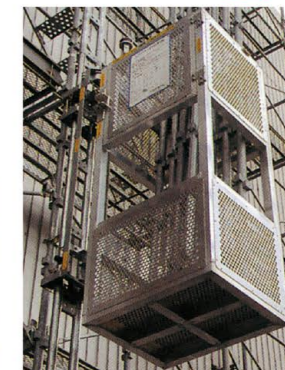
足場工事の中でもっともオーソドックスな工法、それが「枠組足場(わくくみあしば)」です。枠組足場は、各部材は軽量で扱いやすい形状となっており、それでいて高い強度を保持。施工高さは原則地上45mまで可能です。また、組立・解体が容易といった特徴があります。主に建設現場のビルの外壁面に沿って設置されます。支保工を兼用する足場ではまだまだ主役です。



足場用荷揚機ラクター

TYPE 4

通常10人掛かる施工も、HEIWAラクターを使用すれば4人~5人で可能です!これにより回転率も増し、収益性のアップに繋がります。また、レンタル品なので、購入にかかる大きな出費も抑えられます。



クサビ式足場

TYPE 3

まず、施工期間が短い。彼らは当日分の材料のみを積んで来るので、材料置き場を確保する必要がありません。部材の種類が年々充実しているため、複雑な形状の建物や敷地、隣地境界線などで応用がききます。組み立てが簡単なので、少しの手直し等であれば驚を呼ばずとも自分達で組み替えられます。



WORKS

主な施工実績

